

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 7 年 3 月定例会	
議案番号 議案名	議案第 99 号 松戸市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議員名・会派名等	日本共産党
賛否態度	反対
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>私たち日本共産党は、本会議および委員会での討論という本来の発言を最大限に活かすことこそが議員の責務と考えます。</p> <p>非公式の場に、議会で発言してもいない意見を掲載するというやり方は、議員自らが議会における議論を軽視する行為であるという考えから、以下、本会議や委員会などの公の場で討論した内容を掲載します。</p> <p>2025 年 3 月 25 日 本会議 討論</p> <p>日本共産党のミール計恵です。議案第 99 号 松戸市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の制定について会派を代表して反対の立場から討論します。</p> <p>この議案は職員減少の問題を、必要な技術者などの要件を緩和して、人員を確保しようという趣旨の条例改正です。</p> <p>教育環境常任委員会でも、松戸市専用水道の技術者の資格を緩和するという同趣旨の条例改正がありました。わが会派はこの条例改正のおおもとの水道法改正の狙いが民営化に道を開くものであり、市民の命を預かる水道事業の民営化を、企業の利益が最優先される民間に任せる事には重大な問題があることから、日本共産党は国会でもこの法案には反対しています。</p> <p>世界でも水道を一度は民営化したものの、値段がはねあがり、安全性の担保も不十分であるなどの理由から公営に戻す事例も相次いでいます。</p> <p>審査で、この条例改正の理由が、水道整備・管理行政に携わる職員の減少であり、そのための資格要件の緩和ということがわかりました。</p>

またこれまで土木工学科に限定していた学科を機械工学科、電気工学科も可能にし、また水道以外の実務経験も必要経験年数に加えられるということがわかりました。

そもそも水道法の資格制度の改正は政府の規制改革推進会議の議題であり、その狙いは「規制改革」という名の「規制緩和」です。命の水をあずかる水道事業での規制緩和と引き換えに犠牲になるのは市民の安全安心であり、看過できません。またその議論の中では、今後さらに人材確保が困難になる場合は外部との連携も視野に入れることなどが提起されており、重大です。

したがって今回の改正の根本原因は職員不足という要因があり、そのために命の水を守る仕組みへの規制が緩和されることは問題であり、ひいては、今後の民営化などへの道も開く可能性があり反対を申し上げ討論とします。